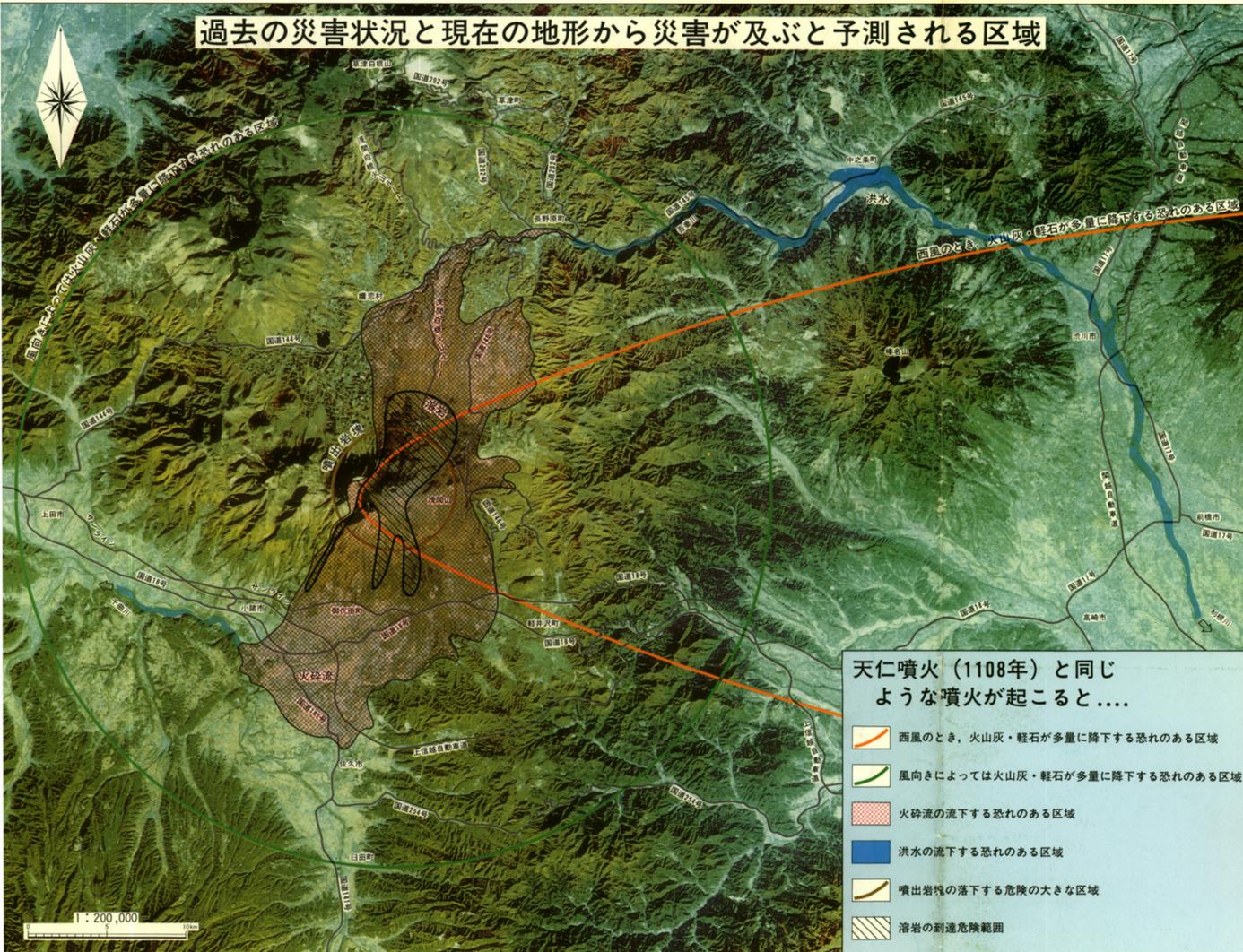


浅間山火山防災マップ

過去の災害状況と現在の地形から災害が及ぶと予測される区域



火山灰・軽石の降下予測の例 (北風の場合)



火山灰・軽石の降下予測の例 (西風の場合)



現在の山頂火口から火山灰や軽石(天仁噴火規模)が噴出した場合を予測したもので、風下側に火山灰等が大量に降下することが予測されます。なお、火山灰・軽石の分布は風向きや噴火の規模によって大きく変わります。

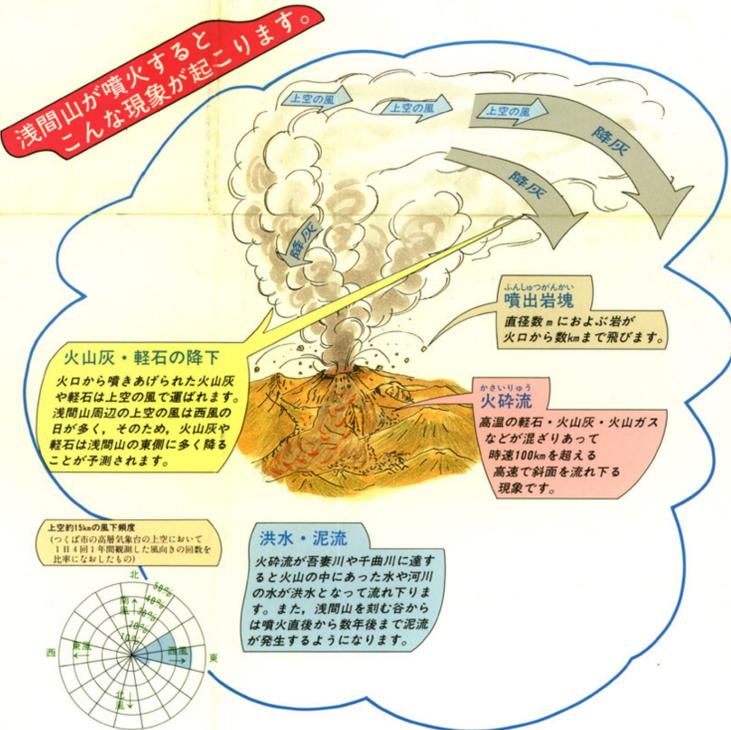
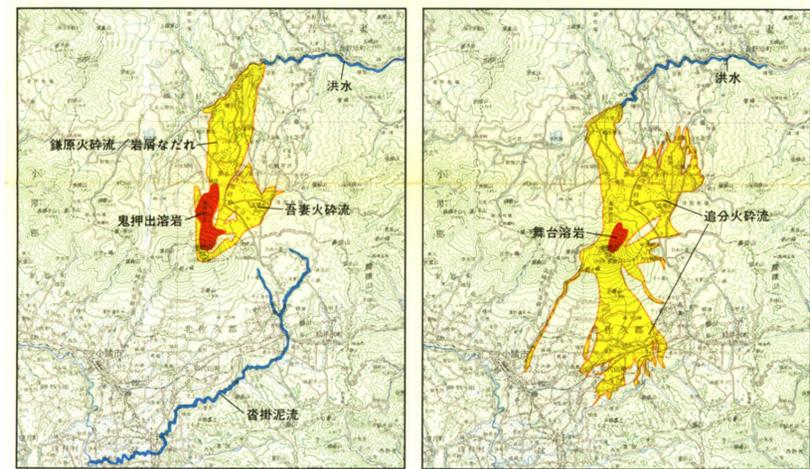
火砕流の流下予測の例



溶岩流の流下予測の例



過去にはこんな大きな噴火があった



火山用語の基礎知識

用語	解説
浅間山	標高2568mの成層火山で、大きくは3個の火山体からなる。古いものから①黒斑火山、②仏岩火山・軽石流、③前掛火山とよばれる。気象庁により常時観測(精密観測)火山に指定されている、わが国でも代表的な活火山。
噴出岩塊	噴火によって火口から高速で噴出された岩塊。大きいものでは直径数mにもなる。火口から4~5km離れたところまで到達する。
火山灰	噴火によって火口から噴出された直径2mm以下のもの。上層風に流され、風下側に多く堆積する。厚く堆積すると家屋がつぶれることもある。
軽石	噴出物のうち、色が白っぽく、空隙が多く、軽いもの。浅間山では大規模な噴火の際に軽石を多く噴出する。
火砕流	火口から放出された高温の火山灰、軽石、岩片、火山ガスなどが混ざった状態のものが斜面を流下する現象。流下域にある建物などは破壊・埋没され、焼失する。浅間山では、天仁噴火や天明噴火の際に中型の火砕流が発生している。
岩屑なだれ	噴火や地震によって、火山体の一部や火山噴出物が崩れ落ちる現象。流下域にある建物などは破壊・埋没される。浅間山では、天明噴火と黒斑山の山体崩壊の際に岩屑なだれが発生している。
溶岩流・溶岩ドーム	鬼押出し溶岩流が代表的なものである。溶岩流はゆっくり流れるため、避難が比較的容易である。小浅間山、難山、石尊山は粘性の大きな溶岩がゆっくり上昇してできた溶岩ドームである。
泥流	火山やその周辺斜面で新しい火山灰などが降雨や融雪によって流下するもので、礫を含む泥状の流れである。河川沿いの低地に氾濫しやすい。
洪水	火山噴火に伴って発生する洪水は、河川・湖沼の水や火山体に含まれている地下水などが流下するものである。浅間山では大きな噴火の際に吾妻川から利根川にかけて大きな洪水が発生している。
空振	火山の爆発によって生じる空気の振動。窓ガラスがこれることがある。
地震	火山噴火の前兆現象として地震が起こることがある。また、噴火の最中に大きな地震が起こることもある。
鳴動	火山噴火の前兆現象として鳴動(地なり)が起こることがある。
噴煙	火口から火山ガス、火山灰、火山岩片などが噴き上げてきた煙状のもの。大きな噴煙柱は1万m以上の高さにも達する。
天仁噴火	平安時代後期の天仁元年(1108年)に発生した大きな噴火。火砕流や火山灰の降下で浅間山周辺は壊滅的な被害を受けた。
天明噴火	江戸時代中期の天明3年(1783年)に発生した大きな噴火。軽石・火山灰の降下、吾妻火砕流、鎌原岩屑なだれ、吾妻川・利根川の洪水などで大きな被害が出た。

天明噴火の被害の概要

死者	1,151名
流失家屋	1,061棟
焼失家屋	51棟
倒壊家屋	130余棟

(気象庁(1991):日本活火山総覧第2版より)

あなたの避難場所を確認しましょう。

収容地区	名称	所在地	電話番号
御代田	御代田中学校	御代田2718	32-2117
御代田・伍賀	御代田南小学校	御代田4107-41	32-3251
小沼	御代田北小学校	馬瀬口1935	32-2069
御代田	旧御代田小跡地	御代田1772-1	
小沼	山ゆり公園グラウンド	塩野3024	
伍賀	旧伍賀小跡地	豊昇	
御代田・伍賀	雪窓球場	御代田4107-96	32-7101
栄町	栄町会館	御代田2456-1	32-3301
荒町	転作促進研修施設西部地区集会所	御代田2158	32-6719
広戸	広戸公民館	広戸702	32-9927
塩野	塩野公民館	塩野1420	32-9928
清万	清万生活改善施設	塩野3307	32-9930
一里塚	一里塚公民館	馬瀬口1507-26	32-9935
上宿	宿・大田生産振興センター	御代田1772-2	32-7596
豊昇	豊昇公民館	豊昇1812-1	32-9936
豊昇	豊昇第二公民館	豊昇1183-1	32-9937
面替	面替公民館	面替544	32-9938
平和台	平和台公民館	御代田2714-133	32-4992
草越	転作促進研修施設東部地区集会所	草越410-1	32-9966
向原	向原生活改善施設	草越1190-84	32-4990
西軽井沢	転作促進研修施設北部地区集会所	御代田4108-466	32-6092
馬瀬口	御代田町同和教育集会所	馬瀬口829-1	32-9925
馬瀬口	高齢者創作館	馬瀬口632-6	32-9970
小田井	小田井公民館	御代田1603-1	32-8145
栄町	御代田町隣保館	馬瀬口1860-17	32-6522
三ツ谷	三ツ谷生活改善施設	馬瀬口2039-8	32-9972
見玉	転作促進研修施設南部地区集会所	御代田3846	32-2136

もし噴火が始まったら

テレビラジオ、行政機関の広報(広報車、防災行政無線など)をよく聞きましょう。



市町村長から避難勧告などの指示があった場合は、それに従いましょう。



避難は落ち着いて。お年寄り、幼児、体の不自由な人、観光客などの避難を助けよう。



避難方向3原則
1 浅間山から離れる。
2 できるだけ風下を避ける。
3 少しでも高いところへ。

火山防災マップの目的 (大規模噴火に備えて)

浅間山では過去に大規模噴火が発生し、大きな被害を受けてきました。天明噴火のような大規模噴火では、噴火が始まると次のようなことが起こります。

- 噴出岩塊の落下
- 大量の火山灰・軽石の降下
- 火砕流の流下
- 溶岩流の流下

また、強い地震が発生したり、有毒な火山ガスが流下する場合もあります。

市町村をはじめ防災関係機関は、噴火に備えて住民や観光客の皆さんの安全を確保するための対策を講じていますが、大規模噴火が始まったら、避難は困難です。安全確保のためには、十分な備えと早めの避難が大切です。このマップは火山噴火災害予測調査の結果をもとに作成したもので、大規模噴火の実態を多くの方に知っていただき、家庭での防災・避難などに役立てていただくことを目的としています。

噴火に備えて

- 日頃からの準備が大切です。火山活動が活発化したときは、正しい情報を得て、準備を再確認して下さい。
- 避難場所、市町村や報道機関の火山・防災情報に心をもちましょう。
 - 避難場所の確認をしましょう。
 - 家族・地区での避難の仕方を話し合っておきましょう。
 - 防災用品を準備し、リュックに入れておきましょう。
- 【備えておきたい防災用品】
- 非常持出し品袋(リュック)
 - ヘルメット(防災頭巾)
 - ラジオ
 - 防寒具
 - ちり紙
 - マスク
 - 懐中電灯
 - 替え下着
 - タオル
 - ゴーグル
 - 飲料水
 - 手袋
 - 救急医療品
- ⑤ 火山の異常現象に注意しましょう。
⑥ デマ・うわさにおおまかにはまらなようにしましょう。また、広めてはいけません。

このマップはご家庭で壁などに貼って噴火に備えましょう。

企画・問合せ先
長野県生活環境部消防防災課 Tel 0262-32-0111
御代田町総務課 Tel 0267-32-3111